

世界を舞台に基礎研究に取り組もうとする若手研究者をAMEDは応援します！

国際的な研究環境で研究キャリアの礎を築きたい若手研究者の皆様へ

# HUMAN FRONTIER SCIENCE PROGRAM

HFSPの留学支援プログラム



## 「フェローシップ」の応募者を募集しています

HFSPのフェローシップは、キャリアの初期にある研究者が国外において新しいライフサイエンス研究にチャレンジすることを支援しています。応募者には成果や収益性に縛られることなく、独創的で既成概念を覆す研究に取り組むことが求められます。

助成額  
3年間合計

※米国に所在する場合  
生活手当 18万ドル  
研究費及び旅費手当 2.2万ドル

+

さらに  
児童手当 1.8万ドル  
引越手当 2.5千ドル

柔軟な  
サポート

育児休暇(手当付)可能  
3年目帰国後使用可能

研究期間延長可能

これらの金額は、受入機関が所在する国の物価水準により異なります。詳しくはHFSPOがウェブサイトで公表しているガイドラインを参照してください。

## 長期フェローシップ

Long-Term Fellowships (LTF)

生命科学分野で博士号を取得し、それまでのPhD取得時またはポストドク研究分野から有意に異なる専門分野へ幅を広げる研究活動を国外の研究室で行いたいと考えている研究者を支援。



## 学際的フェローシップ

Cross-Disciplinary Fellowships (CDF)

生命科学以外の分野(例えば、物理学・化学・数学・工学・コンピューターサイエンス)で博士号を取得し、生命科学分野の研究を行いたいと考えている研究者を支援。

HFSPは生命体もつ高度で複雑なメカニズムの解明を目的とする国際共同研究を、国際的な協力を通じて推進し、人類全体の利益につなげることを目的とする助成プログラムです。

1987年のG7 サミットにおいて、中曽根康弘首相により提唱されました。1989年に、本事業の実施のため、フランス・ストラスブールに国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム機構(HFSPO)が設立されました。

HFSPOは、2022年時点で15のメンバー国・機関からの支援により運営されています。日本では、文部科学省及び経済産業省が予算を拠出し、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)がプログラムの推進に従事しています。



3つのポリシーで基礎生物学研究を支援する

## 「HFSPフェローシップ」

HFSPのフェローシップは、ライフサイエンス分野における変革をもたらす可能性のある最先端の研究提案を支援します。キャリアの初期にある研究者が出身国とは異なる国の研究機関でポストドク研究活動に取り組むことで、研究スキルの幅を広げることを目的としています。新しいアプローチや技術を用いて既存のパラダイムに挑戦する研究に取り組む新たな挑戦が求められています。

  
革新性

既成概念を覆す  
基礎研究を支援

  
学際性

異なる領域の  
融合知を支援

  
国際性

出身国とは異なる国での  
研究活動を支援



# HFSPフェローシップを獲得するには



## 応募資格

- 出身国、国籍は問いません。ただし次のような留意点があります。  
 (留意点1) HFSPメンバー国の国籍を持たない申請者は、メンバー国内の研究機関での活動のみに限られます。  
 (留意点2) 日本以外で博士号取得前後の研究を行った場合や、博士号を取得した場合でも、日本の研究機関を受入れ先として応募することはできません。  
 (留意点3) 二重国籍を持つ申請者は、事前にHFSP事務局(フェローシップ担当)に連絡し、適合性についての確認を行うことが求められています。
- フェローシップ開始時点において、申請者は博士号(PhD)又はそれに相当する学位(例えば研究活動に関連する学士(医学)もしくは医学PhD)を取得しており、かつ、基礎研究活動の経験を有すること。
- すでに学位取得済みの場合は、申請締切日までに博士取得から3年以内であること。
- 研究概要申請書(Letter of Intent)提出締切日時点で、主執筆者となっている国際誌の査読論文が一報以上受理されていること。
- フェローシップ・プログラムの採択後、フェローシップ開始時点で、受入れ先の国で12ヶ月以上(連続しているか否かにかかわらず)働いていないこと。なお、受入国での研究関連の滞在期間(研究職、共同研究、インターンシップ、修士/博士課程、客員研究員または技術者としての滞在など)をすべて合わせた期間が考慮されます。

## 応募方法

「長期フェローシップ Long Term Fellowships (LTF)」及び「学際的フェローシップ Cross Disciplinary Fellowships (CDF)」とも、オンラインシステム(ProposalCentral)を通じた2段階の申請手続きを行います。

厳格・公正な審査システム

一次審査	5月中旬頃 Reference number 取得締切	5月中旬頃 提出締切	研究概要申請書 Letter of Intent
二次審査	9月中旬頃 提出締切		詳細申請 Full Proposal (一次審査通過者のみ) 書面のみで、ヒアリングなし
受賞発表	翌年3月頃 受賞者へ通知		グラントが支給され、継続的なサポートが提供されます。受賞を逃した一次審査通過者に対しては、その理由や改善点のアドバイスなどの審査結果がフィードバック

### 【審査のポイント】

- 申請者の経歴と研究実績は適格性を有しているか
- 推薦者(紹介先)からの評価は高いものであるか
- 申請者は自分の将来のキャリアについて明確なビジョンを持っているか
- 提案された研究プロジェクトは、革新的・独創的・挑戦的であるか
- 申請者本人が十分に練り上げた提案であるか
- フェローシップ研究の方向性はこれまでの研究分野から大きく変えられるか
- 受入機関指導者及び受入研究室は、充実した最先端分野の指導者・研究室であるか
- 受入機関での研究施設は充実しているか
- 受入機関の指導者は当該申請内容を強く支持しているか、受入機関指導者は優れた研究者であるか

### 【次の応募申請は不適合として採択されません】

- 過去の受入機関の研究指導者や共同研究者と研究することを目的とする
- 第一著者となっている出版物がない
- 受入国において12ヶ月を超えて居住していることがある、または受入機関において12ヶ月を超えて勤務したことがある
- すでに受入国に居住している
- 博士号を取得してから3カ年が過ぎている
- 受入国で博士号を取得している
- プロジェクトの説明にまとまりがなく、目標設定があいまいである、または実験計画が明瞭ではない

## HFSPフェローシップに採択された場合のメリット



～受賞者コメントより～

助成期間が3年間なので、挑戦的なテーマについてフェローシップとしての研究に専念することができます

ポスドク期間中の研究者自身の人件費が確保できるので受入先機関での研究活動への参加が認められやすくなります

博士号獲得時の研究テーマとは異なるテーマに取り組むことになるので、新たな研究対象への活躍の広がりを得ることができます

学会参加費や専門書購入のための支出が認められているなど、研究費の用途についての自由度が高いと感じました

あなたの挑戦が、いつか世界を大きく変えるかもしれません。今、その一步を踏み出してください!

AMEDホームページでのHFSPのご案内(日本語)

<https://www.amed.go.jp/program/list/20/01/008.html>



HFSPプログラムの実施機関(HFSPO)のウェブサイト(英語)

<https://www.hfsp.org/funding/hfsp-funding/postdoctoral-fellowships>



問合せ先

チラシ内容について

HFSPフェローシップに関する詳細について

AMED国際戦略推進部国際戦略推進課

HFSP事務局(フェローシップ担当)

\*HFSP事務局に問い合わせを行う際には英語メールをお願いします。

✉ [amed-hfsp@amed.go.jp](mailto:amed-hfsp@amed.go.jp)

✉ [fellow@hfsp.org](mailto:fellow@hfsp.org)